

平成27年8月 行事のお知らせ

平成27年6月
〒530-0044 大阪市北区東天満2-8-1
若杉センタービル別館 5階 502号
公益社団法人 大阪府剣道連盟
The Osaka Kendo Federation
TEL 06-6351-3345 FAX 06-6351-3346
執務時間 月・火・木・金・土 9時～17時30分
水曜・日曜・祝日は休業
<http://www.osa-kendo.or.jp/>

大剣連では会員サービスの一環として、メルマガの配信を行なっています。毎月の行事のご案内や大剣連が主催・主管する行事情報を配信します。また、緊急連絡の配信・ペーパーレス化に向け、メルマガを活用してまいりたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力、ご理解をお願いいたします。メルマガの登録は、下記のメールアドレスに空メール(本文に何も入力せず)に送信して頂くか、QRコードからお願いします。

アドレス: info@m.osa-kendo.or.jp
迷惑メール対策をされている方は、当メール受信のため「m.osa-kendo.or.jp」ドメインを受信できるよう設定して下さい。



剣道行事

平成27年3月までの証書ができています(初段から五段)

1. 審判講習会

- (1) 日時 8月1日(土) 午前10時開始(受付 午前9時30分より)
- (2) 開催場所 大阪府立体育館 剣道場 (<http://www.furitutaiikukaikan.jp/>)
- (3) 参加資格 剣道五段以上
- (4) 講習内容 **従来の審判法の終了後に、講師による指導稽古を行ないます。**
- (5) 携行品 剣道具、剣道着、竹刀、審判規則、筆記用具
- (6) 受講料 **会員 2,150円 非会員 2,800円 < 料金設定にご注意 >**
- (7) 申込期間 7月2日(木)～7月25日(土)
- (8) 申込方法 講習会申込書(大剣連ホームページより、ダウンロードできます)に記入の上、申込期間中に受講料を添えて事務局あてに申込むこと。当日の参加申込みは受け付けられません。また、FAXやインターネットによる申込みは受け付けいたしません。

2. 国民体育大会 近畿ブロック大会

- (1) 日時 8月16日(日) 午前9時開会
- (2) 開催場所 大阪府 堺市大浜体育館 (http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/sports/sports_shisetsu/shisetsu/taiikukan/ohama/index.html)
- (3) 出場選手 別紙の「第70回国民体育大会 大阪府予選会 結果」をご覧ください。

3. 称号(剣道)予備審査会

- (1) 日時 8月22日(土) 午前10時開始(受付 午前9時30分頃より)
- (2) 開催場所 大阪市中央体育館 剣道場 (<http://www.yahataya-park.jp/osaka>)
- (3) 資格 **錬士受審者** ([_arena/index.html](http://www.yahataya-park.jp/osaka_arena/index.html))

- ①平成26年11月30日以前に剣道六段を取得した者。
- ②平成17年11月30日以前に剣道五段を取得し、かつ年齢が60才以上の者。
※但し、登録団体の会長からの推薦書を提出の事。
- ③①もしくは②の条件を満たし、かつ平成26年8月から平成27年8月までの間に、大剣連主催もしくは大剣連の後援する講習会(剣道形・審判・指導法)を2回以上受講している者。
- ④社会体育中級の合格者については、大剣連の称号予備審査を免除いたしません。必ず事務局にお申し出下さい。本審査受審については、全剣連の通達に従い、お申込みいただきます。

教士受審者

- ①剣道錬士七段受有者で、七段を平成25年11月30日以前に取得した者。
- ②①の条件を満たし、かつ平成25年8月から平成27年8月までの間に、大剣連主催もしくは大剣連の後援する講習会(剣道形・審判・指導法)を原則各年2回以上、合計4回以上受講している者。
- ③社会体育上級の優良合格者については、大剣連の称号予備審査を免除いたしません。必ず事務局にお申し出下さい。本審査受審については、全剣連の通達に従い、お申込みいただきます。

注意点(錬士・教士共に)

※注1 全剣連の主催(大剣連主管)する講習会や社会体育指導員講習も含む。
※注2 大剣連の主催する指導法講習会(半日講習会)は1回の受講で、0.5回と計算する。(当連盟 称号・段位審査細則第8条)

- (4) 申込方法 称号予備審査申込用紙(新書式)に記入の上、受審料を添えて事務局あてに申込むこと。用紙は大剣連ホームページより、ダウンロードできます。
- (5) 受審料 **会員 5,300円 非会員 6,900円 < 料金設定にご注意 >**
- (6) 申込期間 7月2日(木)～8月8日(土)
- (7) 審査内容 日本剣道形・審判・実技
- (8) 携行品 剣道具、剣道着、竹刀、木刀(大・小)、筆記用具
- (9) その他 **講習会受講履歴を必ずご記入下さい。**受講履歴が確認出来ない場合は、受審出来ません。

3. 第63回全日本選手権大会 大阪府予選会

- (1) 日時 8月29日(土) 午前10時開始(受付 午前9時30分頃より)
- (2) 開催場所 舞洲アリーナ サブアリーナ (<http://hp.athuman.com/arena/>)
- (3) 出場資格 ①予選会出場者は、平成27年4月30日以前から本大会(11月3日)参加時まで、引き続き(公社)大阪府剣道連盟の登録会員であること。
②年齢は満20才以上とし、段位の制限はしない。
※年齢計算の基準は、大会前日(平成27年11月2日)とする。
③予選会出場は一都道府県からのみとする。違反した者は出場を取り消す。
- (4) 申込方法 所定の申込書(講習会等申込書)に予選会名、氏名、年令、生年月日、段位、所属団体を記入の上、申込期間内に参加料を添えて事務局あてに申込むこと。当日の参加申込みは出来ません。
- (5) 参加料 **会員 650円 非会員 800円 < 料金設定にご注意 >**
- (6) 申込期間 7月2日(木)～8月15日(土)

- (7) その他 予選会につき、竹刀検量を実施いたします。竹刀の先端部が細すぎる規格外竹刀が多くみられます。ご注意ください。規格外竹刀および不正竹刀については各自の試合終了まで、本部で預かります。
本大会は、11月3日(祝)に日本武道館で開催されます。この予選会で、3名の選手が代表として選出されます。

◎西日本剣道高段者稽古会

- (1) 日 時 8月1日(土) 午後2時開始
(2) 開催場所 京都市武道センター (<http://www.kyoto-sports.or.jp/shisetsu/detail/budo.html>)
(3) 参加資格 剣道六段以上
(4) 申込方法 当日会場にて受け付け(参加料は無料)

●第7回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会大阪府予選会 結果

高体連より先鋒の推薦がありましたので、改めて代表になった選手をご報告します。
監督：石田洋二 (大阪剣道協会)
先鋒：黒川 藍 (初芝立命館高校) ※「黒」は、「里」の下に「火」が正しい文字です。
次鋒：横岡千誉 (大阪教育大学)
中堅：豊丸 芳 (大阪剣道協会)
副将：酒匂由美子 (大阪剣道協会)
大将：石田真理子 (大阪剣道協会)
本大会は、7月18日(土)に日本武道館で行われます。

●第70回国民体育大会 大阪府予選会 結果

総監督 船津普治 (大阪剣道協会)

成年男子

先鋒：吉村旭人 (大阪剣道協会)
次鋒：萩原寿矢 (大阪剣道協会)
中堅：松本 誠 (大阪剣道協会)
副将：愛甲和彦 (大阪剣道協会)
大将：山本雅彦 (大阪剣道協会)

成年女子

先鋒：豊丸 芳 (大阪剣道協会)
中堅：阪口寿里 (大阪剣道協会)
大将：石田真理子 (大阪剣道協会)

※ 少年男・女の部については、高体連で選考中です。代表選手が決定すればホームページでお知らせ致します。

成年男子の部は、10月3日～10月5日に和歌山県那智勝浦町体育文化会館で行われる国民体育大会に出場します。成年女子・少年男子・少年女子の部は、8月16日に大阪府堺市で行われる近畿ブロック大会(国民体育大会近畿地区予選)に出場します。

●第28回全国健康福祉祭(ねんりんピック)やまぐち大会 選手選考会結果

5月30日(土)に大阪市立修道館で行われた選考会の結果を報告いたします。

①大阪府選手団

監督：鳥濱義邦
先鋒：木下修一
次鋒：本郷雅昭
中堅：長澤秀明
副将：石丸俊武
大将：鳥濱義邦
交替選手：入澤道雄

②大阪市選手団

監督：宮坂正春
先鋒：原恵治
次鋒：植西輝吉
中堅：増田博史
副将：御本和昭
大将：宮坂正春
交替選手：國次隆雄

③堺市選手団

監督：花川忠信
先鋒：住吉弘臣
次鋒：神脇和馬
中堅：柴田勝己
副将：田井敬二
大将：出口重藏
交替選手：花川忠信

※本大会は、10月17日(土)～19日(月)に山口県防府市で開催されます。

●第54回全日本女子剣道選手権大会 大阪府予選会 結果

6月13日(土)に大阪市中央体育館で行われました、第54回全日本女子剣道選手権大会大阪府予選会の結果をご報告いたします。

大石弓絵 (大阪剣道協会)
田山秋恵 (大阪剣道協会)
山本真理子 (大阪剣道協会)
本大会は、9月13日(日)に兵庫県姫路市で行われます。

大剣連・修道館 共催行事 暑中稽古

主催：(公社)大阪府剣道連盟 大阪市立修道館 (公社)大阪武道振興協会
共催：大阪市 大阪市教育委員会 大阪府教育委員会

- (1) 開催日時 8月17日(月) 大阪市立修道館
8月18日(火) 大阪市立修道館
8月19日(水) 舞洲アリーナ
(2) 対 象 8月17日・18日 午前 小・中学生
午後 高校生
夜 一般男女
8月19日 午前 小・中学生
午後 中・高校生 一般女子
夜 一般男女
(3) 参加料 無料
(4) その他 参加対象者・内容・時間等については、後日ホームページ等において連絡します。

修道館行事

◎中学生前期昇級審査会

- (1) 日 時 8月9日(日) 午後1時 開始 (午後12時30分 集合)
(2) 主 催 大阪市立修道館 (公財)大阪武道振興協会
(3) 後 援 (公社)大阪府剣道連盟
(4) 開催場所 大阪市立修道館 (<http://syudoukan.info/>)
(5) 審査級位 中学生 1級～3級
(6) 審査料 1,500円
(7) 申込方法 修道館までお問い合わせ下さい。
TEL：06-6941-1523 担当：田原
(8) 申込期限 6月30日(火)～7月10日(金)

※ 中学生前期昇級審査会は修道館の行事につき、お問い合わせは修道館事務局へお願いします。

居合道行事

平成27年3月までの証書ができています(初段から五段)

1. 居合道定例合同稽古会 【大阪府剣道連盟・居合道部主催】

- (1) 開催日時 毎週 火曜日・木曜日 開始 午後7時45分 終了 午後8時30分
※ 但し、祝日や他の行事により休講になる事もある。
- (2) 開催場所 大阪市立修道館
- (3) 参加資格 居合道 段外～七段 大阪府剣道連盟会員及び参加を希望する者。
- (4) 参加料 一般 200円
- (5) その他 問い合わせは下記までご連絡下さい。
居合道部長 中野部長 携帯:090-1029-0357

2. 居合道夏季講習会

- (1) 日時 8月16日(日) 午前9時30分開始(受付 午前8時30分より)
- (2) 開催場所 大阪市立千島体育館 (<http://osaka-sp.jp/chishima/index.php>)
- (3) 資格 段位及び流派の指定なし
- (4) 申込締切 7月25日(土)まで
- (5) 受講料 **会員 2,150円 非会員 2,800円**
- (6) その他 高校生以下は受講料は免除。(但し、ｽｰｯﾞ保険 ¥110が必要)
- (7) 問合せ 担当: 居合道部 中野部長 TEL:0725-41-7852

3. 居合道 称号予備審査会・夏季審査会

- (1) 日時 8月29日(土) 予備審査 午前11時開始
審査会 午前13時30分開始(受付 午前12時30分より)
- (2) 開催場所 大阪市立修道館
- (3) 申込方法 従来どおり(詳細は、居合道部 中野部長までお問い合わせ下さい)
- (4) 審査料 **料金設定にご注意**
大剣連ホームページ(http://www.osa-kendo.or.jp/cost/pdf/cost24_2.pdf)よりご確認ください。
- (5) 申込締切 7月31日(金)まで
- (6) 審査内容 **実技審査**
2級～3級 全剣連居合 3本(自由技とする)
1級 全剣連居合 5本(自由技とする)
初段～三段 全剣連居合 5本(当日発表)
四段～五段 全剣連居合 5本 及び 古流 1本(当日発表)
錬士～教士 全剣連居合 12本
※ 尚、本年より、称号錬士受審者は、1年間に講習会を2回以上受講した者とする。称号教士受審者は、2年間に講習会を4回以上受講した者とする。
学科試験
初段～五段(級位審査については学科試験は有りません)
- (7) 問合せ 担当: 居合道部 中野部長 TEL:0725-41-7852

杖道行事

1. 杖道月例研修会

- (1) 日時 8月2日(日) 午後1時 開講
- (2) 場所 川西市総合体育館 (<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shisetsu/>)
- (3) 問合せ 担当: 杖道部 近藤 TEL:072-949-8957 [sogotaiiku.html](http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shisetsu/sogotaiiku.html))

事務局連絡事項

◎事務局休業日

- 7月18日(土) 大阪府剣道優勝大会 前日準備
8月15日(土) 近畿ブロック大会 前日準備
ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。
※ 本年度は、近畿ブロック大会開催のため、通常の夏季休暇をとりません。

◎名誉会員の決定について

- 下記の先生方が、6月9日(火)に行なわれた定時社員総会で名誉会員に選出されました。
また、特別役員に就任されました。
椎葉 隆徳 先生(参与)

大阪府剣道優勝大会

7月19日(日)に大阪市中央体育館で開催されます、「第62回大阪府剣道優勝大会」で開会式直後に行われる、各演武に出場される先生方とその演武についてご紹介いたします。

各武道の素晴らしい演武をご覧ください。入場料は、無料です。多数のご観覧をお待ちしています。

1. 日本剣道形

打太刀 教士八段 宮本 一宏
仕太刀 教士八段 江藤 善久

古来、各流においてその流祖の人々が実地の上より研究を重ねて、いずれもその理に適した形で、太刀の形7本、小太刀の形3本の計10本で構成されています。

2. 居合道（夢想神伝重信流）

打太刀 教士八段 無津呂 弘之
遣方 五段 浅田 治男

夢想直伝流は、居合の流派。大正時代に無双神伝英信流と無双直伝英信流を学んだ中山博道が、独自の工夫を加えて伝えた流派である。無双直伝英信流と並び現代居合道の母体となった。

3. 杖道（全日本剣道連盟 杖道形）

打太刀 教士八段 森本 訓史
仕太刀 教士七段 古谷 重勝

江戸時代初期の武術家・夢想権之助が創始した神道夢想流杖術をベースに昭和43年、全日本剣道連盟において制定されました。使用する武器は長さ128cmの櫛の丸棒(杖)で、太刀・櫛・薙刀等の技を取り入れた総合武道です。権之助は宮本武蔵に剣で立会い敗れた後、杖術の研究を重ね武蔵と立会い勝利したと伝えられています。

4. 内田流 短杖術

打 杖道教士七段 中野 伊織
仕 杖道教士七段 佐藤 政子

幕末の黒田藩士・内田良五郎が明治時代に入りステッキ(短杖)を使った応用技として考案しました。神道夢想流杖術の捌きを元に12本の形からなっています。打つ、突く、受け身、当て身、逆技等理にかかった多彩な技が凝縮されています。

5. 宝蔵院流 槍術

素槍 免許皆伝 前田 繁則
鎌槍 免許皆伝 尾野 好司

奈良の興福寺の僧宝蔵院覚禅房胤峯が創始した十文字槍を使った槍術です。薙刀術も伝承していました。

6. なぎなた（全日なぎなたの形）

現在、演武の先生が決定していません。

刃部と柄部からなるなぎなたは日本の伝統的な武器の一つです。もともとは曲線のある刃を長い柄にとりつけたなぎなたは騎乗の戦士をなぎ払う歩兵に用いられていました。

7. 一心流 鎖鎌術

打 杖道教士七段 下谷 光生
仕 杖道教士七段 坂上 亨

両刃の鎌と分銅を鎖で結んだ「鎖鎌」を用い、斬り込んでくる太刀に対して、鎖を巻き付けたり、鎌で斬ったり、分銅を投げたりして応じる表技12本、裏技12本が伝えられています。遠祖は念流の始祖・慈恩とも言われています。

8. 小野派一刀流 刃引きの形

打方 井上 勝由
仕方 野村 光輝

一刀流の極意は切り落としにあり、一刀のもとに敵を倒す。その一撃は高度な術理に基づいた日本武道の精華でもあります。

9. 一角流 十手術

打 杖道教士七段 石河 和彦
仕 杖道教士七段 近藤眞佐雄

一角流捕手術、一達流捕縄術等と一体となって継承されてきた武術で、その捕手術の一部である手棒の変化に十手や鉄扇の使用法があります。現在は、表技12本、裏技12本が一角流十手術として今日に伝えられています。

※ 演武内容や演武者について、未確定なものがあり変更が生じる可能性があります。変更があれば、ホームページ上で報告させていただきます。

「熱中症」注意！

- ◎ 暑い日が続き、稽古には厳しい季節です。「熱中症」にはくれぐれもご注意ください。指導者の方には、「安全配慮義務」が課せられております。判例を見ますと、「指導者が練習生を指導する際、生命身体の安全を確保すべき配慮に落ち度があったか否か」が問われています。
- ◎ 熱中症についての安全配慮義務
 - ①温度・湿度などによっては、稽古を休みにしたり、中断する。
 - ②練習生の体調等に留意して稽古に参加させない。
 - ③過酷な稽古を長時間継続させることは避け、適宜休憩をとらせ、水分補給も行わせる。もし、熱中症が発症した場合
 - ④直ちに稽古参加を中止させ、涼しい場所へ運ぶ。
 - ⑤直ちに救急車を呼び・医師の判断を仰ぐ等の処置を行う。
 - ⑥救急車が到着するまでの間、身体を冷やし、水分補給させるなどの応急措置を行う。
- ◎ 熱中症に関する情報を提供するものは、多数あります。
(財)全剣連発行「剣道医学Q&A」P27～29
「熱中症を防ごう」(<http://www.japan-sports.or.jp/tabid/523/Default.aspx>)
「京都電子工業株式会社 熱中症予防情報」
(<http://www.n-tenki.jp/HeatDisorder/>)
「熱中症計」
(<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/0906/11/news008.html>)

などをご参考ください。